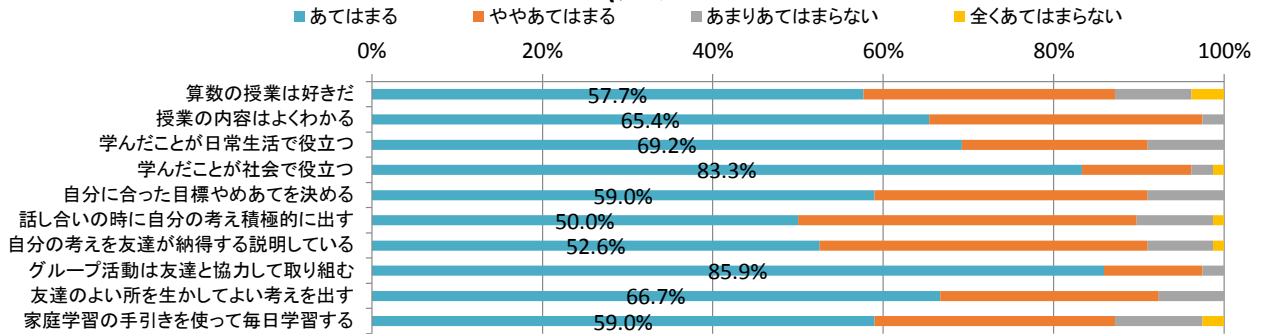


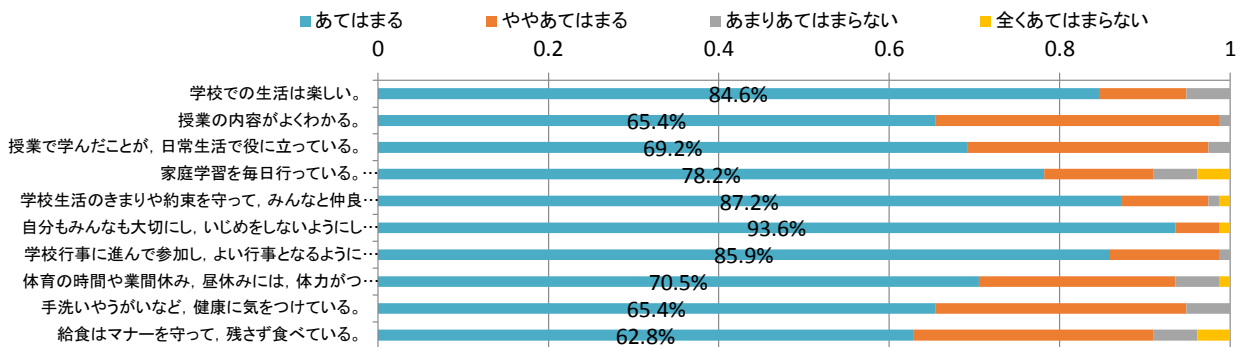
# <学校評価アンケート・2学期>

H28.12

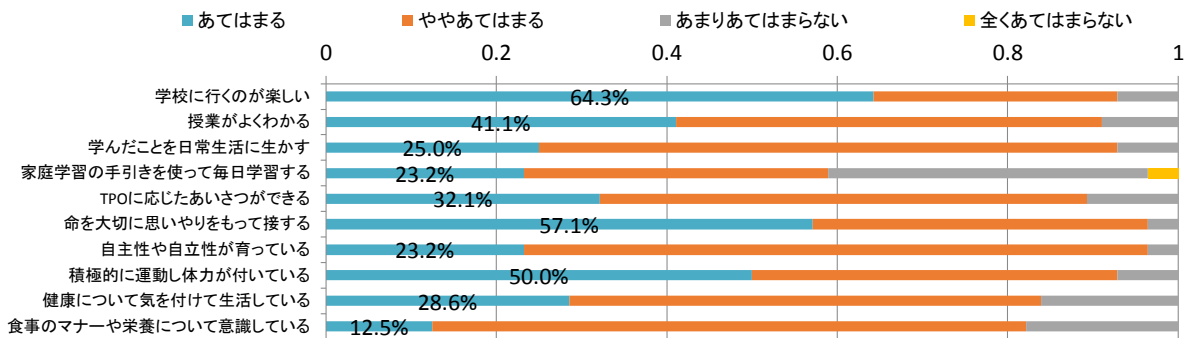
## 全学年・学習(算数科)



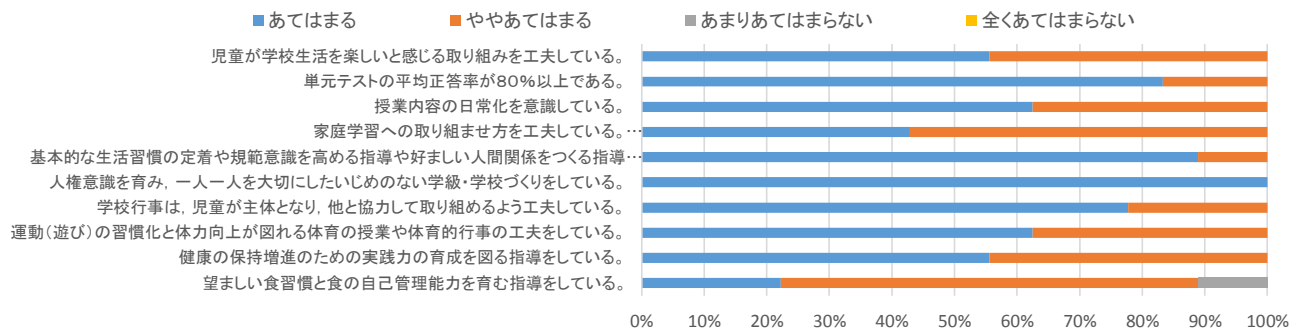
## 全学年・児童



## 全学年・保護者



## 教師アンケート



学校評価「あてはまる」分析—校長の視点5(1. 楽しい 2. わかる 3. 生活習慣 4. 思いやり 5. 体力)※(1学期→2学期)

「楽しい」は児童が(75.6%→84.6%)に対し保護者は(67.2%→64.3%)と低く、教師の工夫も(0%→55.6%)にとどまっていることから、これでは「今日が楽しく明日も楽しみな学校」とは言えません。更なる工夫と努力の必要性を感じました。

「わかる」は、児童(70.5%→65.4%)、保護者(43.8%→41.1%)に対し、教師(50.0%→83.3%)と正答率80%以上という結果との認識の差をどう解消していったらいいのが課題になります。「わかる喜び」と「自信」がポイントになるかと思えます。

「生活習慣」は、児童(71.8%→87.2%)、保護者(28.1%→32.1%)、教師(33.3%→88.9%)へと取組の成果が顕著に表れています。

「思いやり」は、児童(84.6%→93.6%)、保護者(53.1%→57.1%)、教師(44.4%→100%)から子供達の成長を感じます。

「体力」は、児童(66.7%→70.5%)、保護者(57.8%→50.0%)、教師(25.0%→62.5%)から、保護者への説明不足を痛感しました。